

令和5年度
尼崎市文化功劳賞
推薦要領

締切日 令和5年7月14日（金）

【推薦方法】

1. 推 薦 書 「尼崎市文化功劳賞候補者推薦書」による
2. 募 集 期 間 令和5年6月14日（水）～7月14日（金）＜必着＞
3. 提 出 先 尼崎市昭和通2丁目7-16（〒660-0881）
（公財）尼崎市文化振興財団 文化課美術担当
T E L : 06-6487-0806
F A X : 06-6482-3503
Eメール : bunka@archaic.or.jp

「尼崎市文化功労賞」表彰要綱

1. 目的

この表彰は、尼崎市において、文化活動に永年従事し、特に功労があった者を讃えること
によって、市民文化の向上発展をはかることを目的とする。

2. 名称

尼崎市文化功労賞（以下「功労賞」という。）と称する。

3. 表彰基準

尼崎市において、各種文化活動に永年従事し、市民文化の向上に貢献したと認められる者
のうちで、次の要件を満たすもの。

- （1）文化活動に指導的立場として30年以上従事している者。
- （2）尼崎市に居住している者又は尼崎市内の会社、事業所等に勤務している者。

活動分野

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術、その他

4. 選考方法

- （1）公募（他薦に限る。）を原則とし、表彰基準に該当する者を推薦しようとする者は、別に定める
「尼崎市文化功労賞候補者推薦書」にて申し出る。
- （2）表彰を受ける者は、前項の候補者の中から選定する。
- （3）市長は前項の選定にあたって、公正かつ適切に行うため、功労賞選考会の意見を聞いて決定する。
- （4）功労賞選考会は、公益財団法人尼崎市文化振興財団（以下「財団」という。）により文化芸術に
精通した5人以内の委員で組織されるものとする。
- （5）委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。再任による任期は最長で5期10年まで
とする。

5. 表彰

- （1）この表彰は、市及び財団が協働で年1回行う。
- （2）被表彰者に、表彰状及び記念品を贈る。
- （3）被表彰者は、3人以内とする。

6. 文化功労特別賞

市長は文化に関し全国的に水準の高い賞を受賞した者等で、市民文化の向上に多大な貢献をした者
に対し、表彰基準の(1)の要件にかかわらず文化功労特別賞を贈ることができる。

文化功労特別賞の被表彰者には、表彰状及び記念品を贈る。

7. その他

この要綱に定めるもののほか、表彰に必要な事項は市長が別に定める。

付 則

この要綱は、昭和46年9月7日から施行する。

令和5年5月30日 最終改正

○経歴・受賞歴等

(記入例)昭和〇〇年〇月兵庫県尼崎市生まれ、平成〇〇年3月〇〇大学〇〇学部卒業

○特筆すべき活動歴

時期、活動内容が分かるよう箇条書きでご記入ください。

(記入例)平成〇〇年〇月〇日 〇〇(場所・会場)にて「〇〇〇〇」を開催。平成〇〇年〇月「〇〇」を出版。

【必須】選考の参考になる資料(例)作品集・チラシ・プログラム等の印刷物、写真、DVD、CD等を推薦書に同封ください。

尼崎市文化功労賞表彰要綱に基づき、表彰基準に該当するものとして、上記の者を推薦します。

令和 年 月 日

推薦者	ふりがな		TEL	
	氏名			
	ふりがな		〒	
	住所			
候補者との関係	(所属団体の会員を推薦等があれば記載)			

「尼崎市文化功労賞」過去の受賞者名一覧

回	年度	氏名	部門	回	年度	氏名	部門	回	年度	氏名	部門
1	昭和46年	有馬 文夫	園芸	14	昭和59年	北浦 牧郎	川柳	27	平成9年	桂樹 満喜雄	洋画
		牛尾 桃里	日本画			中森 操	文化活動一般			西村 日出男	園芸
		阪本 梅月	華道			山下 こま子	日本画			守田 椰子夫	俳句
2	昭和47年	福田 岩三	浄瑠璃	15	昭和60年	安藤 豊司	俳句	28	平成10年	笠原 嘉人	吟詠
		吉田 宗年	茶華道			高橋 省三	短歌			小泉 八重子	俳句
		若柳 吉奈美	邦舞			玉置 利久	洋画			安田 武茂	郷土文化
3	昭和48年	池田 景一	洋楽	16	昭和61年	梅本 和子	茶華道	29	平成11年	青山 静子	民踊
		今村 宏	園芸			梶本 孫一	園芸			伊藤 陽仁	写真
		小松原 翠邨	日本画			阪口 孝	工芸 陶芸			森本 政利	書道
4	昭和49年	鈴木 光暎	日本画	17	昭和62年	田中 秀雄	洋画	30	平成12年	保田 三千男	園芸
		天堂 仙洲	吟詠			広岡 久枝	吟詠			上村 貞子	工芸
		中島 双風	俳句			安田 五郎	文化活動一般			土谷 正利	書道
5	昭和50年	上村 秀男	文学	18	昭和63年	黒川 増太郎	川柳	31	平成13年	菊尾 松寿	箏曲
		小山 清峯	俳句			藤本 啓	短歌			堀江 素琴	書道
		田中 久仁子	茶道			渡邊 弘	洋画			本家 恒雄	洋楽(ピアノ)
6	昭和51年	中村 茂雄	洋画	19	平成元年	坂本 勝	吟詠	32	平成14年	石井 富子	書道
		森 誠太郎	邦楽			作 松太郎	洋楽(吹奏楽)			岡田 康和	音楽
		横山 速生	茶華道			須佐美 政雄	園芸 菊			藤間 三千夜	邦舞
7	昭和52年	小寺 忠正	邦楽	20	平成2年	鐘ヶ江 種甫	茶華道	33	平成15年	家久 静子	書道
		佐伯 一郎	園芸			辻井 耕一	園芸 卓月ソ			井関 たね子	茶華道
		平 清次	文学			保田 二郎	洋画			前田 澄夫	洋楽(ギター)
8	昭和53年	石原 泰太郎	吟詠	21	平成3年	氏田 良一	短歌 郷土史	34	平成16年	矢田 宣光	囲碁
		黒阪 清子	邦舞			増戸 秀邦	書道			牛尾 翠葉	書道
		小桜 佳世	邦舞			山本 壽々代	工芸			宮原 万里子	組紐
9	昭和54年	狩谷 春樹	邦楽	22	平成4年	中島 玉衣	茶華道	35	平成17年	藤本 尚	書道
		野田 宗庵	茶道			藤原 友五郎	吟詠			上村 武男	文学
		松井 定雄	書道			山根 淑子	演劇			橋本 美和子	洋楽(大正琴)
10	昭和55年	北 義人	短歌	23	平成5年	原田 昇	短歌	36	平成18年	伊藤 登子	洋舞
		広川 宗鶴	茶道			吉田 あき子	民謡			松井 茂夫	書道
		向井 義幸	園芸 菊			黒嶋 良江	工芸			藤井 實夫	素浄瑠璃
11	昭和56年	中尾 二郎	園芸 卓月	24	平成6年	高野 照子	工芸	37	平成19年	山岡 翠山	吟詠
		野草 富太郎	日本画			矢内 江春	書道			馬場 武彦	洋楽(吹奏楽)
		吉山 芳良	演劇			田中 しげ子	茶華道				
12	昭和57年	下里 智恵子	洋楽(声楽)	25	平成7年	岡野 洞之	俳句	38	平成20年	菅 静男	民謡
		豊澤 源平	浄瑠璃 三味線			喜多 博子	書道			田屋 茂	洋楽
		沼 正三	ユネスコ活動			中西 佐和	民舞			本家 浄子	洋楽
13	昭和58年	高田 銀蔵	民俗 芸能	26	平成8年	小南 梅山	吟詠	39	平成21年	中村 源治	能楽
		中尾 正一	洋画			佃 勇	卓月 盆栽			服部 珠子	華道
		吉川 陽子	俳句			山本 昭子	染織			蔵本 誠子	バレエ

